

出版企画書

下記のとおり新規出版物を企画しました。審議をお願いします。

提出日：平成17年10月13日	
(主管) 構造工学 委員会 委員長：石橋 忠良	
構造物荷重指針連合 小委員会 小委員長：古田 均	
書名 (仮称でも可)	土木建造物の性能設計における作用・環境的影響指針 (第1版) ※必ず図書の目次案を添付してください。また、できれば執筆予定者リストも添付ください。
図書の位置づけ	新規
出版の目的 (具体的に)	土木学会における設計関連の指針類の中で、荷重に関するものはこれまでまとめられることがなかった。建築学会の荷重指針に30年余の歴史があることは対照的である。性能設計への移行の時代を迎え、設計者・基準策定者が作用(荷重を含む一般的概念)の扱いの原則を理解するための基本をおさえるとともに、今後のデータベース整備の受け皿としての体系化をはかったものが本指針である。
主な対象読者	実務者 ・ 企業や官公庁の研究者 ・ 大学の研究者 ・ 学生 ・ その他 ()
原稿提出形態	完全版下原稿
掲載する写真	ない
掲載する図面	トレース不要
判型	A4判
ページ数	約 200 ページ
希望発行部数	500 部
希望単価	3000 円
事務局への原稿提出予定	平成 18 年 9 月 30 日頃
発行予定日	平成 18 年 12 月 1 日頃
出版会計からの編集会議の費用補助	必要としない ※必要とする場合は、添付の「予算要求調書」に詳細をご記入ください。
出版会計からの制作予算を必要とする時期	平成 18 年 9 月 頃から
講習会の開催予定	ある (平成 19 年 4 月頃)
連絡担当委員	氏名： 佐藤尚次 所属： 中央大学理工学部土木工学科
	TEL 03 - 3817 - 1802
	FAX 03 - 3817 - 1802
	E-mail sato@civil.chuo-u.ac.jp
事務局担当者	

- ◆企画内容は、現時点で判明している範囲で結構です。ただし、内容が大幅に変更になったり、出版形態が変更になる場合は、企画書の再提出が必要です。
- ◆編集会議の費用補助は、承認されない場合があります。また、出版会計から補助した金額は、必ず図書の定価に影響します。あわせてご了承ください。
- ◆お問合せ先：(社)土木学会・出版事業課 TEL 03-3355-3444/FAX 03-5379-2769

※この出版企画書は、下記のホームページにも掲載しております。
<http://www.jsce.or.jp/committee/pub/pub-req.html>

目 次

第 I 編 一 般 論

(本城、澤田、香月、佐々木、戸田、梶田)

1. 目 的		I-1
2. 基本方針		I-2
2.1 本指針の記述原則		I-2
2.2 本指針の記述範囲		I-2
2.3 本指針の記述方針		I-2
3. 適用範囲および設計コードにおける作用の記述		I-3
3.1 適用範囲		I-3
3.2 各種設計コード等における作用の記述		I-3
4. 作用に関する体系		I-6
4.1 設計状況		I-6
4.2 作用因子		I-6
4.3 作用モデル		I-6
4.4 作用効果		I-6
5. 作用の分析と組み合わせ		I-8
6. 作用の分類		I-9
6.1 作用の時間的変動性に基づく分類		I-9
6.1.1 永続作用		I-9
6.1.2 変動作用		I-9
6.1.3 偶発作用		I-9
6.2 作用の力学的・化学的性質による分類		I-9
6.2.1 力学的作用		I-9
6.2.2 化学的作用		I-10
6.3 その他の分類		I-10
7. 用語の定義		I-11

第 I 編 付 録

A-I.1 信頼性理論に基づく作用組み合わせ	白木	A-I-1
A-I.2 荷重のばらつきや不確定性と設計用荷重 (特性値と部分係数)	鈴木	A-I-5
A-I.3 統計的手法による作用モデルの構築	本城	A-I-12
A-I.4 部偶発作用の考え方(野津提案)	野津	A-I-18
A-I.5 国際設計指針・基準等における荷重・作用の現状	佐藤	A-I-?
A-I.6 各作用のリンク先, データベース等	戸田	A-I-?
A-I.7 「性能設計における作用・環境的影響指針」補足	佐藤	A-I-?

第 II 編 各 種 作 用

1. 基本方針	佐藤	II-1
2. 死(固定)作用	佐藤	II-10
3. 走行(活)荷重	白木、佐藤、川谷、齊藤、横山	II-20
4. 風作用	石原、勝地、川谷、中山、横山	II-30

5. 地震作用	澤田、中村、秋山、野津、長尾、梶田	II-40
6. 雪作用	?	II-50
7. 温度作用	藤田	II-60
8. 波浪および流体による作用	長尾	II-70
9. 地盤作用	鈴木、塚本	II-80
10. 衝撃作用	榊谷、香月、河西、梶田	II-90
11. 環境作用 (環境的影響)	下村、松島、三島	II-99
12. 降雨強度		